板橋志村 豊国電線争議勝利解決報告

新興大工場地帯、然カモ全然未組織ノ地区デアッタ
故ニ本争議ノ持ツ意義ハ重要デアッタ。

一、一般経過

イ、原因 豊口電線ハ竜ノ川区ヨリ本年四月板橋区志村前野町ニ移轉シタ。

移轉ニ先立チ、従業員ノ待遇ノ悪サ、賃銀ノ安イタメ、不平不満ヲ「移轉シタラ」ト言ッテ慰メ且ツ押ヘテ来タ。

ガ、移轉シテモ何等ノ改善モセヌノデ、不平ハ極点ニ達シ、何時爆発スルカ知レヌ空気ニ於ッテ来タ。

之ニシ忠義振ッタ出入リノ大工ガ社長ニ雇ヒレタヲ附与テ話シタ為メ会社ハ機先ヲ制シタ心算デ六月二十八日朝、工員ガ出勤シテ見ルト表門ヲ鎖ザシ臨時休業ノ札ヲ出シテ終ッタ。必然ニ争議団ガ作ラレタ訳デアル。

ロ、交渉 板橋署ノ調停

臨時休業ノ札ヲ出シ、堅ク門ヲ鎖シテ、暴力団ヲシテ門ヲ守ラシメ、社長以下重役社員共ニ行エ不明警察ヨリノ呼出シニモ出頭セズ、偶々出頭ヲ約スルモ、約束ヲ守ラズ、為メニ、三日五日ト日時ハ経過シ遂ニ板橋署モ手ヲ引クカニ見ヘタ頃駒込ノ社長宅ニ、重役会議ヲ数十回開イテモ、マトマラズ、彼ラニトグロヲ巻イテ居タ会社側モ、旦日ト争議団ノ攻げきが強マリ、会社側ガ不利ニ向ヒツゝアルニ焦ッテ出シ漸ヤク板橋署ニ出頭、工員側ト交渉ヲ開クニ至ッタ。

ハ、争議団側

当該地区一帯ハ根津嘉一郎財閥ノ数十万坪ノ地所カアリ、指定工場地デアル所カラ、並ニ二年ノ間ニ、大小工場ノ新設移轉相次ギ、突然京浜方面ノ如キ工場地帯ニナッテ来タ。

交通ノ便ハ僅カニ根津系ノ東都バスガ十五分ニ一台宛午后ノ十時頃迄通ッテ居ル、本当ニ練馬大根畑ガ工場地ニナッタバカリノ処女地ダ

労働組合ナド見タコトモナイ土地ダ、豊口ノ工員達モ勿論未組織ダッタガ、幸ニ、関東工联城北支部トノ連絡ガツキ、決意ヲ固メルニ至リ、本格的ニストライキ戦術ヲ展開スルニ至ッタ。

二、附近工場ノ動揺

争議団ニ毎日附近工場ヨリ応援ニ来ル。

関東工联必勝ノ戦術ガ展開サレ日一日ト会社側ノ悲鳴ガ強マル、堂々タル大義明分ノ旗ハ押シ進メラレ、区民モ同情シ、附近工場工員モ安心シテ来援スルニ至リ、遂ニ会社側ハ折レザルヲ得ナクナッタ

即チ七月八日板橋署長立会ノ下ニ左ノ如ク覚書ヲ交換シ、七月九日ヲ公休トシテ十日ヨリ出勤スルコトニナリ解決シタ

三、解決条件

一、争議中ノ日給全額支給
一、争議ヒ用会社負担
一、賃銀一割五分値上（物価手当）
一、二月昇給ノ臨時手当ヲ本給ニ
一、最テ賃銀ノ決定
一、昇給年一回五分以上
一、休息時間中ノ運動ノ自由
一、風呂ノ設置
一、退手法ノ法的実施
一、犠牲者ヲ出サザルコト
外 二三項目

尚ホ会社ハ解決祝トシテビール三打、サイダー二打、菓子一箱ヲ争議団ニ贈ルコトニナリ未組織地帯ノ処女ストライキハ完全ニ工員側ノ勝利トシテ解決シタ。

四、応援ヲ謝シ今后ノ御協力ヲ乞フ

一般ニ比シテ、今度ノ争議ハ勝利ト云ヒ得ルモ、物価高ニ比シテ、得タル条件ノ如キハ、実ニ勝利ト迄ハ云ヘナイ、之レハ全勤労大衆ノ正シイ自覚ト全的協力ナシニハ解決シナイ問題デアリマス。

此ノ意味ニ於テ、私共ハ今回ノ我々ノストライキニ絶大ナル支援ヲ賜ッタコトニ感謝スルト同時ニ、前記ノコトニ意ヲ致サレテ主義主張、政党、組合ノ別ナク勤労大衆ノ当面ノ利害問題ニ御協力サレンコトヲ御願ヒ致シマス。

特ニ、就中、板橋地区ガ前記ノ如ク大工場地帯デ、今回ノ争ギニヨリ、僅カニ関東工联城北支部ノ旗ガ進メラレタニ過ギナイ状態デス。

而シテ今度ノ争議ニヨリ、相次ギ起ルデアロウ今后ノ展開ニ於テ吾々ハ強力ナル御支援賜ランコトヲ願フ次才デアリマス。

五、解団式

七月八日午后三時交渉、覚書交換、午后六時会社ヨリ酒菓子来リ、午后八時近ニ、今后ノ対策協議、全員大会ノ決定ニヨリ直ナニ解団式挙行。

本部ヨリ南委員長
城北支部長 杉泉氏
〃 執行委員 大長根氏
〃 〃 吉林氏
城南支部 新田 佐藤氏
城大竜ノ川 高橋氏

右ハ常任応援者トシテ参加

紀念撮影ノ后附近ノ戸主達ヲ招ジ争ギ解決祝賀宴ヲ張リタ。

塩島団長ノ音頭デ萬才々々何時マデモ続キ散会

昭和十三年七月九日

板橋区志村前野町一〇六六番地
豊国電線争議団残務整理委員会

荒川区尾久町四丁目一八六四五番地
関東工联城北支部
電話王子 三五九一

本部所在地 向島区寺島町五丁目五五番地玉ノ井駅前